

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和2年度 第2回加東市健康づくり推進協議会
開催日時	令和3年3月22日(月) 13時30分から14時30分まで
開催場所	加東市役所201会議室
議長の氏名 ( 山本忠志 )	
出席委員の氏名	山本忠志 曾野瑞弘 藤井信一 阪田拓哉 濱田恵子 藤木厚巳 山本貞江 池見清美 下山絹子 松本多美子 生田幸良 上月崇平 後藤浩美
欠席委員の氏名	なし
説明のため出席した者の職氏名	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	健康福祉部 (部長) 大西祥隆 健康課 (課長) 細川公代 (副課長) 芹生祥子 (係長) 藤岡良恵 下崎ユカ 榎原ひろみ
1 議題	(1) 加東市健康増進計画の進捗状況について ①健康増進計画の評価指標について ②評価方法について (2) 加東市自殺対策計画の進捗状況について
2 会議の経過	・あいさつ(山本会長) ・議事、意見交換(協議会規則により会長が議長となる)
3 議事	<u>(1) 加東市健康増進計画の進捗状況について</u> 資料1に基づき、加東市健康増進計画の評価指標ならびに評価方法を中心に説明しました。  【意見交換】

●議長 ただいま加東市健康増進計画進捗状況について説明がございました。この説明につきまして御質問、御意見がございますでしょうか。評価指標、評価方法の説明を受けました。これについても何か、そのことで御質問等ございましたら、よろしくお願ひいたします。

それでは、どなたでも結構ですので、ただいまの説明につきまして何か御質問、御意見、ございますでしょうか。

●委員 実は、集団接種に協力させていただくことになってはいますが、我々、医療従事者の接種がなかなか始まらないんです。ワクチンがなかなか入ってこないということです。できるだけ我々医療従事者の免疫をつけ、可能であれば、2回接種を待つてから、集団接種に入らせていただきたいのですが。そのことも、可能であれば御配慮をお願いしたいと思います。

それともう一つ、実は加東市の国際化が進みまして、工場で働く人の中にベトナムの方やその他の外国の方がおられ、結構外来に来られます。通訳とか、生活習慣の違うところも多々あるため、その対策として、何らかございますでしょうか。よろしくお願ひします。

●事務局 1点目ですが、集団接種に医師会の先生方に従事いただけるということで、非常にありがたく思っております。2回接種が終わってから、できれば従事を行うことで御意見をいただきましたが、実施時期や実施の開始については、また御相談できたらと思っております。市役所に4月26日の週に1箱は届くということだけが現在決まっておりますので、その後どのような形でワクチン供給があるのかというのが、現在、市のほうでも分からない状況になっております。一旦は連休明けぐらいをめどにスタートしたらどうかと現在のところ考えております。

その時期に、医療従事者の先生方については、1回は接種ができたと思っておりますが、2回済むまでということになると、3週間かかりますので、今日の御意見を参考にさせていただき、また接種日の調整は、医師会副会長の先生を通じて調整させていただきますので、また協力よろしくお願ひいたします。

●事務局 2点目のベトナムの方、外国人の方が多いという点ですが、市では、現在、週に何日かベトナム語の通訳の方が来られており、母子保健の事業に関して翻訳をしていただいたり、ポケットクを購入しておりますので、それを活用して、通訳をしたりしているところです。また、コロナワクチンの関係に関しましても、幾つか翻訳したものを用意できるというように聞いておりますので、そのあたりで対応していきたいと考えております。

●委員 例えば、母子手帳も、ベトナムバージョンというのは、皆さん持ってこられているし、加東市としてはかなり進んでいると思ひます。よろしくお願ひします。

●議長 対応をお願ひします。

●委員 外国人の方への周知ですが、コロナ対策ですね。外国人の方の感染もかなりあるのではないかとということも、少し言われております。通訳の方など対策を講じてくださっていますが、コロナの予防対策についても、そういったところは行き届いているのでしょうか。

それが1つと、もう一つは子育て見守り活動を新規事業として上げておられました。地域だけではなくて、小さな子どもの安全ということについては大事なことだと思います。加東市についても、虐待など、どうなのかということをおもっています。5か月から1歳未満の家庭の見守りということで、とても大事なところだと思うのですが、子どもたちの家庭の数と、見守りをそうやって一つ一つ丁寧にしてくださいということ、大変だと思います。人的な面で、それは足りているのでしょうか。お尋ねいたします。

●事務局 外国人の感染ということにつきましては、現在、外国籍の方が加東市も多くおられるということで、今のところはホームページなどで、外国の方が分かる感染対策の情報を掲載したり、日本語学級などに、説明のチラシを配っていただいたりというようなこと、あと企業などで勤めておられる方につきましては、そちらを通じて周知いただいたりという取組をさせていただいているところでございます。新規事業の見守り支援につきましては、人的なところでは、配達をさせていただける委託事業を考えております。子育て経験のある方にお話を聞いていただいて、何か変わった様子などがあれば、市につないでいただくような体制確保ができればと考えております。

●議長 では、次。

●委員 1週間ほど前、神戸新聞で貧困児童か何かの記事を少し見たのですが、加東市でも、そのような子どもさんがおられるのでしょうか、それは対策がされているのでしょうか。

●議長 お願いします。

●事務局 少し古いデータになりますが、たしか平成30年に市内の保育園と、それから小学校の5年生と中学校の、学年は忘れましたが、一部のところを抽出するような形でアンケート調査をしております。そのときには、うろ覚えで申し訳ないですが、市内で言うと9%台が貧困に該当するであろうというアンケート結果が出ております。ちょうどその頃、全国的に貧困の話題が出ていたときには、7人に1人、16%というふうなところが全国的に言われている中で、加東市では9%台が貧困というふうな形の数字が出ていたと記憶しております。ですから、加東市の中でも、決してそういう方がおられないというのではなく、ある一定の方はおられるというふうな状況になっているというのが、少し前のデータですが、加東市の状況となっております。

あと、貧困対策で言いますと、国の動きとしては、貧困と言われる収入層の方に対して、子ども1人当たり5万円というのを支給するというようなことが、今検討段

階に入っているというようなことを聞いておりますのと、去年でしたら、コロナ絡みで、加東市独自の施策として、子ども1人1万円であったりとか、独り親の家庭に対して5万円、プラス子供に対して1人増えるごとに3万円とか、いろんな施策をしたんですけども、来年度については、今のところ国の動きを見ているという状況というようになってございます。以上です。

●議長 よろしいでしょうか。

子どものことに関しては、この課だけでなく、ほかの教育関係もいろいろと行政を交えながら進めていただくことになるかなと思っておりますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

ほか、よろしいでしょうか。

お願ひいたします。

●委員 健康課の方はいつも大変だと思ひます。特に昨年度は大変だったと思ひますが、令和2年度の資料というのはほとんど出ており、保健事業やまちぐるみ健診の結果は出ていますと思ひますが、3年度に、もしコロナの第4波とか5波とかが来て、なかなか受診者の数が確保できない、あるいは開催できないとかになった場合に、この3年度の資料というのを、どうされるのかなと思ひまして。数が少なかったら、なかなか結果として評価しにくい場合もありますし、開催されない場合だと評価ができない。それの何か対策を考えられているのかなということですね。いかがでしょうか。

●事務局 評価指標の次年度からの分で、資料1の2ページ以降に、このような形で評価していけたらということで、指標を上げておりますが、もし3年度に実施できない場合は評価ができなくなるのでは、というご意見でしたが、実際、令和2年度につきましても、まちぐるみ健診は、実施時期を大きく変更し、もう一度日程調整をさせていただいて、実施したような経過がございます。できれば、時期をずらしてでも実施していきたいと考えております。

国は健診について、外出制限するような対応ではなく、健康を維持するために必要な外出ということで周知しておりますので、市としては、感染対策をした上で実施したいという意向と、もしどうしても状況により実施できない場合につきましても、この取組の成果や課題、今後の方向性など、内容を記載する項目を入れておまして、そちらの欄で、こういった理由で実施できなかった状況を、記載させていただいた上で、評価をお願ひしたいというふうに考えております。

●委員 ありがとうございます。例えば、この2年度は、まちぐるみ健診の受診者数は、かなり減ったんですか。

●事務局 正確な数は今すぐにお答えできませんが、まちぐるみ健診の受診者総数は大幅に減っているのと、歯周病検診についても受診者数は減っています。

●委員 その場合、やはり母数が違ふと、評価がしにくいのかなと思ひますし、その

辺のことを少し加味し、どう評価するかというのも難しいと思います。できるだけ感染対策をして、多くの方に受診していただくというのは一番ですが、感染が広がると、受診者が少なくなるというのが、ちょっと心配なところだと思います。その辺の対策を、難しいと思いますが、何らかの形でされたらと思うんです。よろしくお願いします。

- 議長 よろしいでしょうか。検討していただいて、いい評価ができるようにしてください。

ほか、よろしいでしょうか。

それでは、ただいまの加東市健康増進計画の進捗状況について、事務局の説明の内容で承認していただくということでよろしいでしょうかということで、よろしければ拍手をお願いしたいと思います。

【拍手】

ありがとうございます。では、事務局説明の内容で承認といたしたいと思います。ありがとうございました。

では続いて、2つ目の議題です。加東市自殺対策計画の進捗状況について事務局から説明をお願いいたします。

## (2) 加東市自殺対策計画の進捗状況について

資料2に基づき、加東市自殺対策計画の進捗状況について説明しました。

【意見交換】

- 議長 ただいまの説明につきまして、御意見、御質問、ございますでしょうか。お願いします。
- 委員 本当にいろいろと考えてくださり、対策を練ってくださっているのに申し訳ないんですが、人材育成の中で、本当に自殺しようと思う人の心を受け止めてあげられる、その人材といいますか、市の職員方も一生懸命努力してくださっているんですけど、自殺しようかなと思ったときに、そこに電話をして、その方に一応受け止めてもらう。それから、そのいろんな職業や悩みに分けて、市の方が対応してくださるような方法や、本当に悩んでいることを、経験豊かな、人生経験のある方たちに受けてもらって、それからその対策方法を練ってもらうような。そんな人材の方は、加東市の中に多分おられると思うんですけど、せっぱ詰まったときに、そこへ電話して、自分の思いを全部受けてもらえるような、そういった方がいてくださったらなって思うんですが。
- 委員 関連してですが、私も、加東市というこの規模の都市で、自殺者が減っていない、それから率からいえば県よりも増えているとか、そういうの、何とかならないかっていうふうに思うんです。それは、今おっしゃるように、市としては窓口

をつくってくださったり、いろいろされていますけれども、結局、窓口に出向いていくことができない人が多いわけですよね。ですので、それはやっぱり地元の、地域の身近な人たちがそれを早期に発見して、感じていかないといけないと思うんです。そのために地域の自治体があるわけで、民生委員の方もいらっしゃいますし、各地域に役員会もありますし、老人会もあります。

加東市の中でも、小さな地域だと、非常に隅々まで家庭の事情まで分かることもあり、ちょっと様子が変だなと思ったら分かるんですね。でも、大きな地域だと集合住宅が多く、分かりにくいところもあると思うんですね。そういうところはどうかというところだと思うんです。結局、本当の地域の身近な、向こう三軒両隣ではないですが、そうした人たちが、実際にちょっとと思っても、相談に乗ってあげるといふことはしにくい場合が非常に多いですよね。ですから、そういうときは、市へそとつないで、市の人にはそれも、そと、それとなく、何げなく、訪問をしたりというふうな、そういうネットワークですね。それをしていかないといけない。今言いましたような役割の方はいっぱいおられ、それなりにしてくださってなるとは思うんですが、そういうところの働き方を、もう少し強化しないといけないのではないかなという感じがいたしております。

●議長 ありがとうございます。

何か事務局のほうからございますでしょうか。

●事務局 御意見ありがとうございます。しっかり受け止めていただいたり、お話を聞いてくださる方というのは、本当に必要だろうと思います。市の中で、どの人がそういう役割というふうな位置づけでは特に置いてはいませんが、市の職員も、受け止めて話を聞くということも人材育成として学んでいます。入り口で、何か様子がおかしいなという気づきをまず持ってもらったり、そういうときに一声かけてもらうような人が広がっていけばということ、そこから必要なところにつないでいけたらと思っております。

あと、相談窓口をお伝えしているチラシの中には、いのちの電話として、加東市専属ではないですが、県や、播磨いのちの電話というところの、電話をチラシに載せて紹介しており、そういったところで受け止めてもらわれている方もあるのではないかと思います。そのようなところと市との連携はできない状況ではありますが、そういった相談の場のご紹介はしているところです。

また、市の職員のゲートキーパーとしての学びもそうですが、市民の方にも、身近な方が気づいてくださり、気づいたことを市につないでいただいたり、そこで受け止めてもらったりということも必要であるため、市民向けの講座も年1回開催しております。令和2年は「睡眠」を切り口にした講演会を開催し、民生委員様には直接お声かけをさせていただいたり、市民向けということで広報やチラシでお知らせしました。また今後、各団体の皆様にも通知させていただけたらというふうに思います。

●議長 ありがとうございます。本当に、地域と行政に連携があり、つながるようにしていくことが大事なのかなと。そういうネットワークも必要だと思います。よろ

しくお願いしたいと思います。  
ほか、よろしいでしょうか。

●委員 このようなコロナの時代で、経済的に苦しい方も多くおられ、自殺者の中には、持病、うつ病とか、そういう方もおられると思います。経済的な理由できちんと受診できないことも考えられます。その辺、経済的な援助も必要ですし、きちんと受診されているかどうかなど、そういう確認もされたらいいかなと思います。

●議長 ありがとうございます。  
御意見、ほか、ございませんでしょうか。  
それでは、ただいまの加東市自殺対策計画の進捗状況について、事務局説明の方針で取り組んでいくということによろしいでしょうか。よろしければ、拍手をお願いしたいと思います。

【拍手】

それでは、承認といたしたいと思います。

【閉会】

閉会のことば（曾野副会長）

4. その他

次回協議会 令和3年8月頃

令和3年5月10日

議長 山本 忠志



署名人 生田 幸良



署名人 後藤 浩美

